



愛隣幼稚園..... 園だより 12.5月号

「ようちえんにいこう！」

新緑の美しい季節になりました。昨年の「園だより」にも書きましたが、やっぱり伝えたくて書いてしまいます。“期間限定”です。しかも、日替わりの“今日限定”だったりしますから伝えずにはいられません。今だけの数え切れない種類の緑が織りなす美しい「春の絵」を見逃さずに楽しんでください。目を上げて深呼吸して眺めるとすーっと肩の力が抜け、優しい力に満たされていくのを感じます。大きな大きな自然の恵みです。「緊張」と「頑張る」がいっぱい春だから神様は私たちにそっと贈り物をくださっているようです。誰にも同じように届けられていますから、是非楽しんで、優しいエネルギーを充電してください。

春になって幼稚園には卒業生が次々とやってきました。小学校に入ったばかりの1年生はもちろんですが、大きな卒業生もやってきます。高校生になったR君。部活推薦で野球の強豪校です。大好きな野球がやりたくて選んだ道ですが、早くも壁にぶち当たっている様子。担任の宮越先生を相手に辛いあれこれ話しこんでいきました。中2になったK君もY君と一緒にやってきました。幼稚園を卒業してからずっと頑張ってきた「空手」の試合で、“人生初の一回戦負け”を経験したそうです。相手はロシア人。「時間が経ってだんだん悔しくなってきた」と言っていました。こちら学校では若干のお悩みもある様子。担任だった私を相手に短い時間でしたが、いろいろと話をして帰っていきました。ひかり組の子どもたちは緊張の連続の中、エネルギー補給のためにやってくるようです。幼稚園での楽しかったことおもしろかったこと、仲間や先生との思い出が笑顔と元気の素になるようです。でも愛隣幼稚園にはこんなふうに中学生や高校生の男の子たちもやってきます。不思議です。幼稚園の先生に話をしにやってくるのです。カッコイイ話ではなく、ちょっとカッコ悪い話にもとれるようなことを、わざわざ話にやってくるなんて、やっぱり何だか不思議です。こんな訪問者もありました。1週間くらい前の2時頃だったでしょうか。園庭で片付けをしていた優子先生が興奮気味に職員室に駆けこんできました。「いま、YちゃんとSちゃんがきますよ！ランドセルしょって。玄関にまわってって言ったから、もうインターホン鳴ると思うんだけど！」その声を聞いて、私はちょっと驚きながらも嬉しい気持ちで玄関に行ってみました。ドアの外には少し照れくさそうなふたりの、興奮した笑顔。でも、側に保護者の姿は見当たりません。ふたりの小学校は都賀小です。「お家の人に言ってきた？」「ううん」・・・やっぱり黙って来てしまったようでした。でも、私たちはふたりを大歓迎しました。ふたりで「ようちえんにいこう！」と決めて学校からそのまま歩いてきたと言っていました。「ちゃんと信号わたってきた！」と誇らしげに言っていました。ふたりの足でどれくらい時間がかかったのでしょうか。幼稚園までの道々、ふたりはどんな会話をしながらやってきたのでしょうか。ゆっくり歩いて来たのでしょうか。小走りにやってきたのでしょうか。体中がきつとドキドキとわくわくでいっぱいになりながら、「ようちえんにいこう！」の思いだけでやってきたふたり。ふたりの小さな冒険に心を馳せながら、ちょっと泣けてしまいました。黙って来てしまったのは褒められたことではありませんが、ふたりの満足げな笑顔に込められた気持ちを、私は大切にしたいと思いました。彼女たちにとってそんな幼稚園になれたことを、心から嬉しく思いました。誰にとっても、どんな時にも「ようちえんにいこう！」そう思ってやってくるのが出来る幼稚園でありたいと思います。だから、今始まっているひとつひとつの出会いを、私たちは大切にします。違っていいのだと、違うからいいのだと。その誰とも違うあなたのことが大好きで大切だと、私たちは子どもたちとの出会いの中で伝え続けていきます。